

第26回

ながおか映画祭

NAGAOKA
FILM
FESTIVAL
2021

9/18(土) 19(日) 20(月祝)

長岡リリックホール

【主催】コミュニティシネマ長岡
【共催】長岡市／(公財)長岡市国際交流協会



「ミャンマーで起こっているのか」
北角裕樹氏 報告会

18日 13:10-15:10

映画料金
一般 1回券 前売券 当日券
1,200円 1,500円

中・高校生、障害・療育手帳をお持ちの方、介助者(1名のみ) 700円

3日間 一般 5,000円 5,500円
フリー券 中・高校生、障害・療育手帳をお持ちの方、介助者(1名のみ) 1,500円

小学生 以下 無料

※全席指定席のため、会場にて座席を指定して下さい。

プレイガイド
長岡市：文信堂長岡店、長岡リリックホール
アオーレ3F市民協働センター、雑本堂古書店
新潟市：シネ・ウインド



「新潟市民映画館 シネ・ウインドと坂口安吾」
齋藤正行氏 講演会

19日 14:50-16:00

映画料金
一般 1回券 前売券 当日券
1,200円 1,500円

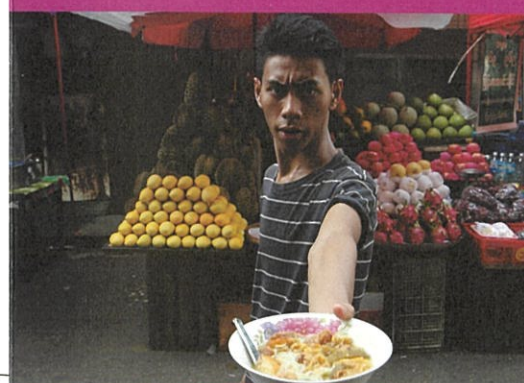
中・高校生、障害・療育手帳をお持ちの方、介助者(1名のみ) 700円

3日間 一般 5,000円 5,500円
フリー券 中・高校生、障害・療育手帳をお持ちの方、介助者(1名のみ) 1,500円

小学生 以下 無料

※全席指定席のため、会場にて座席を指定して下さい。

プレイガイド
長岡市：文信堂長岡店、長岡リリックホール
アオーレ3F市民協働センター、雑本堂古書店
新潟市：シネ・ウインド



23日(木祝) オンライン対談

14:00 小林茂監督に聞く
ドキュメンタリー映画の半生
小林茂 × 佐藤睦 対談 (120分)

映画料金	前売券	当日券
一般 1回券	1,200円	1,500円
中・高校生、障害・療育手帳をお持ちの方、介助者(1名のみ)	—	700円
3日間 一般	5,000円	5,500円
フリー券 中・高校生、障害・療育手帳をお持ちの方、介助者(1名のみ)	—	1,500円
小学生 以下	—	無料

※全席指定席のため、会場にて座席を指定して下さい。

プレイガイド
長岡市：文信堂長岡店、長岡リリックホール
アオーレ3F市民協働センター、雑本堂古書店
新潟市：シネ・ウインド

- 18日(土)
- 9:40 開場
 - 10:00 『僕の帰る場所』(2017年、日本・ミャンマー、98分)
 - 12:10 『香港画』(2020年、日本、28分)
 - 13:10 「ミャンマーについて」基調講演：羽賀友信氏(20分)
 - 13:30 「ミャンマーで何が起きているのか」北角裕樹氏 報告会(70分)
※『めぐる』(監督：ティンダン)上映含む
 - 14:40 北角裕樹氏 × 羽賀友信氏 対談(30分)
 - 15:40 『こどものそら』(2000年、日本、108分)
 - 18:00 『セノーテ』(2019年、メキシコ・日本、75分)
 - 19:15 小田香監督 Q&A(20分)

- 19日(日)
- 9:40 開場
 - 10:00 『セノーテ』(2019年、メキシコ・日本、75分)
 - 11:25 小田香監督 Q&A(30分)
 - 12:20 留学生母国紹介(10分)
 - 12:30 『タレントタイム～優しい歌』(2009年、マレーシア、115分)
 - 14:50 齋藤正行氏講演会(新潟市民映画館シネ・ウインド代表)
「新潟市民映画館シネ・ウインドと坂口安吾」(70分)
 - 16:20 『ドロステのはてで僕ら』(2020年、日本、70分)
 - 17:40 山口淳太監督トーク(30分)
 - 18:40 『追い風』(2019年、日本、71分)
 - 19:51 安楽涼監督トーク(30分)

- 20日(月祝)
- 9:40 開場
 - 10:00 『僕の帰る場所』(2017年、日本・ミャンマー、98分)
 - 12:10 『新喜劇王』(2019年、香港・中国、90分)
 - 14:00 『香港画』(2020年、日本、28分)
 - 14:50 長岡インディーズムービーフェスVol.2
 - 14:50 『一杯のモヒンガー』上映と北角裕樹監督トーク(50分)
 - 15:40 第23回長岡インディーズムービーコンペティション 受賞作品等上映と授賞式 Part1(120分)
17:40~17:50 休憩
 - 17:50 『内回りの二人』『東京乗換案内』『しきさい 完全版』上映(64分)
柴野太郎監督 × 梨本諭鳴監督トーク(10分)
 - 19:05 第23回長岡インディーズムービーコンペティション 受賞作品等上映 Part2(80分)
 - 20:25 『すみつぐのつぐ 昭和九十六年』上映と野上純嗣監督トーク(45分)
 - 21:10 終了予定 ※フェス詳細はHP等に9月上旬に掲載いたします。

【協力】シネ・ウインド

【後援】新潟県 JICA 長岡商工会議所 (一社)長岡観光コンベンション協会 長岡ロケなび

新潟日报社 新潟県 日本経済新聞社 新潟支局 朝日新聞 新潟総局

毎日新聞 新潟支局 読売新聞 新潟支局 長岡新聞社 NHK新潟放送局 BSN新潟放送 NST新潟総合テレビ

TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21 NCT エフエムラジオ新潟 FMながおか80.7

コミュニティシネマ長岡 事務局 雑本堂古書店 〒940-0066 長岡市東坂之上町2丁目3-3 MAIL cc.nagaoka@gmail.com 携帯 090-9639-6855 (開矢 9:00~21:00)

「ながおか映画祭」 ながおか映画祭 検索

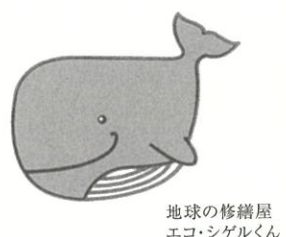
株式会社 新産

確かなモノにて明日の未来を創造

TEL 0258-46-5288
〒940-2127新潟県長岡市新産4-4-2

茂興業株式会社

本社 〒951-8003 新潟市中央区雲雀町32番地 TEL(025)228-0351(代) FAX(025)229-5983
長岡営業所 〒940-2117 長岡市石動南町22番地8 TEL(0258)47-2500(代) FAX(0258)47-2501



株式会社 関矢設計事務所
魚沼市並柳182 TEL 025-799-2122

新潟県歴史的建造物専門家 ヘリテージマネージャー
代表取締役 関矢茂信 (一級建築士)

感謝 働き 真実



コレクション 出前ボランティア 長谷川 浩一

映画祭ロビーにて おまちしております。

第12回 祝 映画祭26回記念 ポスター パネル展

作品紹介

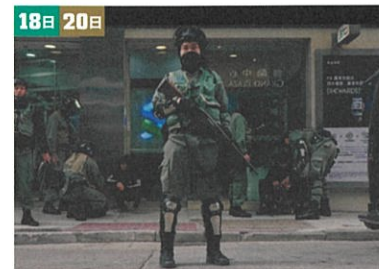
僕の帰る場所



2017年 / 日本・ミャンマー / 98分
監督・脚本・編集：藤元明緒 出演：カウン・キャットウ、ケイン・キャットウ、他 配給：NPO法人日本・ミャンマーメディア文化協会 ©E.x.N.k.k.

東京の小さなアパートに住む、母のケインと幼い二人の兄弟。入国管理局に捕まった夫アイセイに代わり、ケインは一人家庭を支えていた。日本で育ち、母国語も話せない子ども達に、ケインは慣れない日本語で一生懸命愛情を注ぐが…。

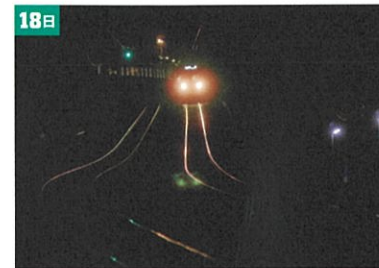
香港画



2020年 / 日本 / 28分
企画・監督・撮影：堀井 威久磨 企画・プロデューサー・撮影：前田 穂高

「逃亡犯条例改正案」をきっかけに2019年6月よりエスカレートしていった香港民主化デモ。デモ隊と警察の激しい衝突の様子は日本でも日々報じられていたが、デモに参加した若者たちの声や訴えは日本にいるわたしたちにどれだけ届いたのだろうか。

めぐる



2020年 / 日本 / 30分
監督：ティンダン 出演：生越千晴、小野花梨、他

大切な入社試験面接の日の朝も、めぐみはいつもの悪夢にうなされていた。その夢とは、放課後の教室で行われる妹・奈緒への集団いじめの光景。そして、奈緒が駅のホームへと…。

「めぐる」とティンダン監督について

一本の電車が遅れる、駅で見知らぬ人にぶつかる、そうした「ちょっとしたこと」が、多くの人の人生を玉突きのように変えていく、そんな人間ドラマが「めぐる」だ。

キャストがすべて日本人であるこの短編を監督したのは、ミャンマー生まれのティンダン監督。小学生の頃に両親の都合で日本にわたり、日本映画学校（現日本映画大学）を卒業して業界に飛び込んだ。

そのティンダン監督が、いまミャンマーで無実の罪で収監されている。日本とミャンマーを行ったり来たりして映像作家の仕事をしていた彼は、2月1日に起きたクーデターをヤンゴンで目の当たりにして、自分にできることは何かを考え、そしてカメラを回し続けた。そして抗議活動やメディアの弾圧に乗り出した当局に追われるようになり、4月17日逃亡先のホテルで逮捕されたのだった。

この「めぐる」は、いまミャンマーで起きていることは日本人にとって決して対岸の火事ではなく、映画をめぐる人々を通してつながっているのだということを示すものである。

友人代表 北角裕樹（ジャーナリスト）

こどものそら



2000年 / 日本 / 108分
監督・撮影・編集・ナレーション：小林茂（第1回監督作品） ©こどものそら上映委員会

札幌の学童保育所“つばさクラブ”の子どもたちに密着した3本構成のドキュメント。障がい児も健常児もエイサーのリズムに乗って舞い踊る『放課後』。自分と向き合う旅に出発する『自転車』。はじけとぶ子どもたちのエネルギー『雪合戦』。「生命力」と直結している子どもたちの表情が胸に焼きつく。

セノータ



現世と黄泉の世界を結ぶと信じられていたセノータをめぐって交錯する、人々の過去と現在の記憶。

2019年 / メキシコ・日本 / 75分
監督・撮影・編集：小田香 配給：スリーピン

タレントタイム～優しい歌



転校生ハフィズに成績トップの座を奪われ、わだかまりを感じている。そして、いよいよコンクール当日を迎える……。

2009年 / マレーシア / 115分
監督・脚本：ヤスミン・アフマド 出演：パメラ・チョン、マヘシュ・ジュガル・キショール、他 配給：ムヴィオラ ©Primeworks Studios Sdn Bhd

ドロステのはてで僕ら



2分の時差で繋がっているらしい。

2020年 / 日本 / 70分
原案・脚本：上田 誠 監督・撮影・編集：山口淳太 出演：土佐和成、朝倉あき、他 配給：トリウッド ©ヨーロッパ企画/トリウッド 2020

小田香監督 Q&A

メキシコ、ユカタン半島北部に点在する、セノータと呼ばれる洞窟内の泉。セノータはかつてマヤ文明の時代、唯一の水源地であり雨乞いの儀式のために生け贄が捧げられた場所でもあった。現在もマヤにルーツを持つ人々がこの泉の近辺に暮らしている。

留学生母国紹介

ある高校で、音楽コンクール“タレントタイム”（マレーシア英語＝学生の芸能コンテストのこと）が開催される。ピアノの上手な女子学生ムルーは、耳の聞こえないマヘシュと恋に落ちる。二胡を演奏する優等生カーホウは、成績優秀で歌もギターも上手な

山口淳太監督トーク

とある雑居ビルの2階。カトウがギターを弾こうとしていると、テレビの中から声がする。見ると、画面には自分の顔。しかもこちらに向かって話しかけている。「オレは、未来のオレ。2分後のオレ」。どうやらカトウのいる2階の部屋と1階のカフェが、

追い風



2019年 / 日本 / 71分
監督：安楽涼 出演：DEG、安楽涼、片山享、大須みづほ、ユミコテラダンス、他 配給：すねかじりSTUDIO

安楽涼監督トーク

ミュージシャンの出倉は誰にでもどんなことがあっても笑う。誰も傷つけたくない、だから笑う。そうやって自分自身を傷つけてきた年齢は28歳。身の回りの人はそれなりに幸せを掴みかけている。人に合わせ愛想笑いをする出倉はアーティストとしては

新喜劇王



だがマーは演技も性格も最低最悪。過去の栄光にすがるとラブルメーカーだった。

2019年 / 香港・中国 / 90分
監督・脚本・製作：チャウ・シンチー 出演：ワン・バオチャン、エ・ジンウエン、他 配給：ツイン ©2019 The Star Overseas Limited All Rights Reserved.

北角裕樹監督トーク

すべてミャンマー人の俳優で撮影された短編映画である。ミャンマーでは例のない「料理コメディ」という新しい分野に挑戦。ミャンマーの伝統料理のなまぜそば「モヒンガー」を軸に展開する復讐劇だ。機械化による大量生産でミャンマーモヒンガー界を牛耳る悪の組織を相手に、若い職人が父の仇を取るため、手作りモヒンガーを武器に闘いを挑むストーリーとなっている。

2017年 / 日本・ミャンマー / 28分
監督：北角裕樹、アウントウレイ 出演：ネイウーライン、他

23日 オンライン対談

『阿賀に生きる』から第1回監督作品『こどものそら』へ

小林茂監督に聞く ドキュメンタリー映画の半生

対談 小林茂 × 佐藤睦

2021年9月23日[木・祝] 14時～16時 ZOOM

申込方法 下記メールまで「小林監督対談希望」としてお送り願います。ZOOM情報をお送りします。

申込先 cc.nagaoka@gmail.com

申込期間 申込期間2021年9月1日（水）～9月22日（水）

内回りの二人



2018年 / 日本 / 30分
監督・脚本・編集：柴野太朗 / 出演：川籠石駿平、岡野真也、他 主題歌『長所はスーパーネガティブ!』 / 星野明音（岡野真也）〈作詞・作曲：町あかり〉 エンディング曲『Soda-Movie Edit』 / The Whoops（作詞・作曲：宮田翔平）

柴野太朗監督トーク

変わらない毎日に辟易していた男は、昔好きだった「後ろ向きアイドル」星野明音に山手線の車内で遭遇する。だが、彼女はどの駅でも降りることはなく、一周した電車は終点の大崎駅に到着する。やがて、ふとしたことから言葉を交わした二人は、終電後の夜の街を歩き始める。同

しきさい 完全版



るだけで何故か高揚し、何かに励まされ、背中を押され、背筋が伸びる。

2021年 / 日本 / 30分
監督：梨本諦鳴 出演：さつき、大橋ニカ、他

梨本諦鳴監督トーク

高校生の鈴がいつもと変わらない日常の中で芸妓と出逢う。それは、今まで知らなかった風と香りを感じた瞬間だった。遠い世界、無縁の世界、知らない世界の存在でもある古町芸妓。目に見えない何かが芸妓を特別な存在にしている。芸妓の姿をみ

すみつぐのつぐ 昭和九十六年



1990年 / 日本 / 38分
監督：野上純嗣 出演：野上純嗣、野上家の人々、他 ※一部、演出による無音（サイレント）の場面有

野上純嗣監督トーク

作者・野上純嗣が雪深い新潟県長岡市の野上家において撮影した家族の継承をテーマにした作品。*毎年、東京で開催の〈イメー ジフォーラム・フェスティバル〉1990年度一般公募部門で大賞（グランプリ）受賞。

映画を通じて多文化共生・異文化理解を進めることを目的としています。

ミャンマーで今 何が起きている? #WhatsHappeningInMyanmar

